

健康教育委員会だより



今年度の健康教育委員会では、既存の自殺予防プログラムや長野県総合教育センター生徒指導・特別支援教育部専門主事・福田菜津子先生の研修会を通して、子どもがSOSを出した時にそれを受け止めることができる保護者や教職員の存在がとても大切だということを再確認しました。しかし、子どもからSOSを出された時や自傷行為を見つけた時の対応に困った経験のある教職員が多いことから、身近な大人として子どもたちのSOSを受け止めるためには、どのような力を身につける必要があるのかを検討するとともに、各学校の目的に合わせて、短時間の校内研修で活用できるよう、「子どもと信頼関係を築く手がかりになる職員研修で使えるロールプレイ集」を作成しました。参考にした資料などは活動のまとめに掲載されています。



昨年度まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な活動が制限、中止となりましたが、今年度は無事に夏季研修会や教研集会を実施することができました。

今年度は長野県全域で例年よりも早い時期からインフルエンザが流行しました。感染症予防を始め、SOSの出し方教育、がん教育、性教育、安全教育、食育など扱わなければならないことが多岐にわたる中、実際に他校ではどのような取り組みをしているのか、日常の業務について情報交換を行うことができました。

健康教育委員会では、先生方の実践に繋がるよう、研修会・授業・教材を提供して先生方同士が学び合える場を設けていきたいと思えます。

1年間、活動にご協力いただきありがとうございました。

小池 真理(宮川小)・松井 真由美(諏訪中)・宮下 さやか(泉野小)
柳澤 由紀(諏訪清陵中)・松林 杏樹(北山小)・上原 夕輝(上の原小)

ありがとう

